

江戸を知って、

東京を知る。

実演と講座が誘う、

ハイブリットな

空想旅行。

# 芸づくし 大江戸 トリック

— 風俗、流行、精神性まで —

ナビゲーター  
木ノ下裕一

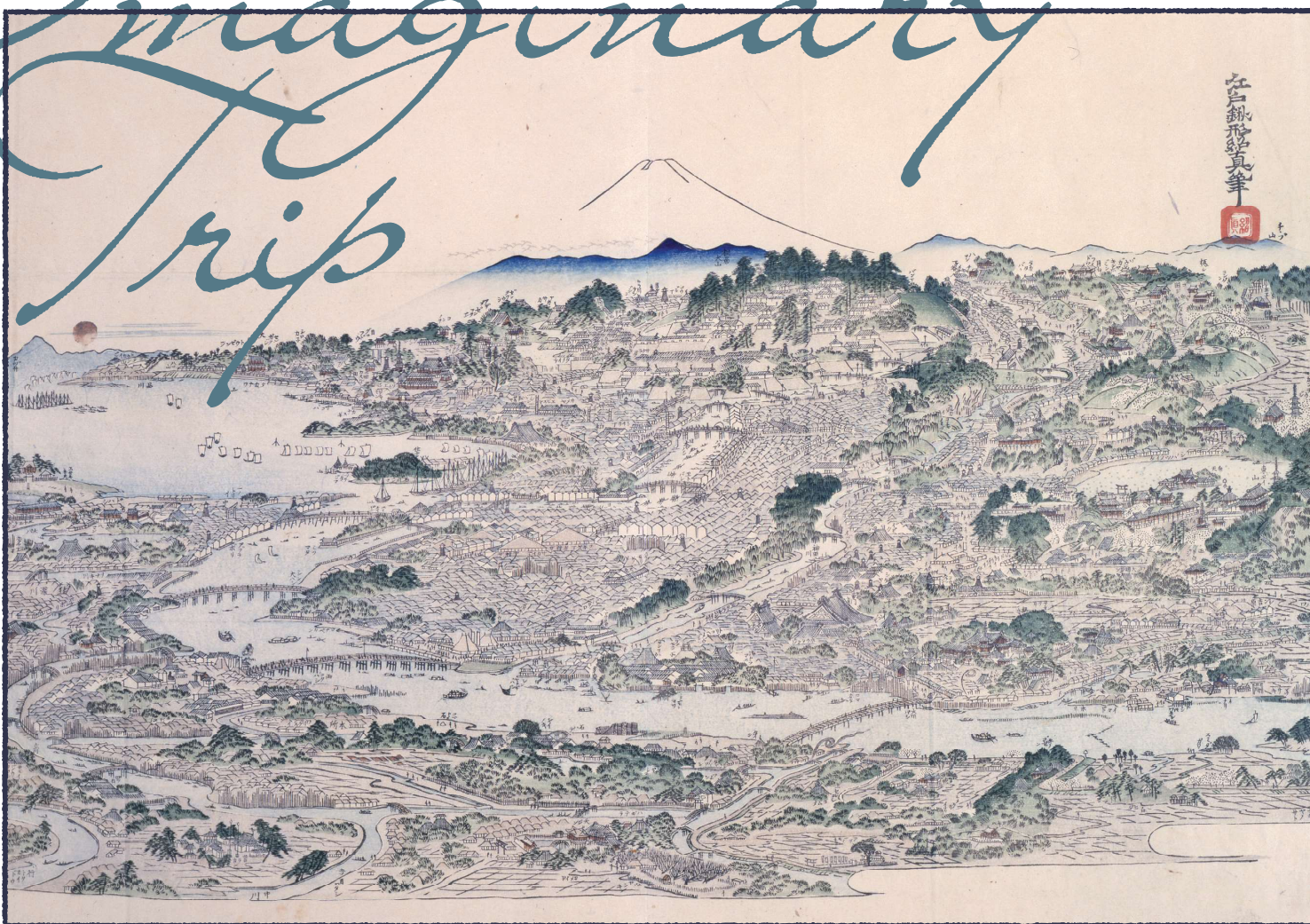
落語  
五街道雲助

浪曲  
玉川奈々福「曲師：沢村豊子」

講座（浮世絵）  
渡邊晃「太田記念美術館上席学芸員」

木場の木遣  
木場木遣保存會

Imaginary  
Trip



江戸御覽見筆



鉄形惠齋「江戸名所の絵」太田記念美術館蔵

2021年12月12日[日] 14:00開場 15:00開演

豊洲文化センター 豊洲シビックセンターホール

[全席自由] ティアラ友の会会員:3,600円 一般:4,000円 ※6歳以上入場可

10月10日[日]10:00より、チケット予約開始(03-3536-5061)

主催:公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区豊洲文化センター 企画協力:木ノ下歌舞伎/樹来舎

magin



KOTO CITY TOKYO

江東区文化プログラム

KOTO CITY CULTURAL PROGRAM



# Imagin Trip

東京がまだ江戸と呼ばれて  
いた頃、そこにはどんな景色  
が広がり、どんな人が生き、  
何を喜び、何を哀しいと思っ  
ていたのでしょうか。  
私たちが生きる東京の土台  
でもある江戸。その成り立  
ちから、風俗、流行、精神性  
までを、体感できるスペシャ  
ルイベントを開催します。  
木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下  
裕一さんのナビゲートで、江戸  
の成り立ちを、多角的に紐  
解くハイブリッド講座、開講  
です！

# 若づくし 大江戸 トリップ

—風俗、流行、精神性まで—

プログラム【登場順／予定】※出演者によるクロストークあり

## 木場の木遣:木場木遣保存会



木場の木遣は、徳川家康が江戸城造営の時に連れてきた材木商が伝えたものと言われていますが、確かなことは不明です。木場の筏師(川並)が、鳶口一つで材木を操る時の労働歌で、互いの息を合わせるため、掛け声のように即興の詩をつけて歌ったものです。木の大きさによる仕事のテンポの違いから、それぞれフシ(間)の異なるものができました。近年は各地からの職人が集まるようになって、仕事場では歌われなくなり、今では保存会の人たちによって祝儀の場などで歌われています。

## 講座:木ノ下裕一【木ノ下歌舞伎主宰】

### 「早わかり江戸講座—都市と文化の誕生—」



かつての江戸は、その街並みはもちろんのこと、道や水路、緑や土地さえも、ほぼ一から人間が作り上げた“人工の新興都市”でした。その上に、今、私たちが暮らす東京があります。江戸がどのように作られ、いかに独自の気質と文化を育ててきたのか……時に上方(関西)と比較しつつも、その(都市の個性)に迫ります。

## 浪曲:玉川奈々福【曲師:沢村豊子】

### 「陸奥間違い」



「陸奥間違い」は、講談の「三方目出鯛」を、浪曲師・二代目廣澤菊春が浪曲化したものです。圧倒的な武家の社会である江戸で、たった一字の間違いから、武家社会の一番底辺から一番頂点まで巻き込んで起こる大晦日の大騒動を描きます。浪曲界に新たな風を起こし、様々なジャンルを超えたメディアを次々と活躍の場に行っている大注目の浪曲師、玉川奈々福さんによる語り芸をお楽しみください。

## 講座(浮世絵):渡邊晃【太田記念美術館上席学芸員】

### 「浮世絵にみる100万都市・江戸の成り立ち—深川から豊洲へ」



天正18年(1590)の徳川家康による江戸入府以降、江戸の町は河川の開削や江戸湾の埋め立て、江戸城の普請などの高度な土木事業によって大きな変貌を遂げ、人口100万人を超える大都市へと発展しました。本講座では江戸時代から400年以上たった現代まで続くといっても過言ではない、深川、佃島などの埋立地の成り立ちに焦点をあてつつ、広重や北斎の浮世絵を通して江戸の土木事業の痕跡をたどります。[聞き手:木ノ下裕一]

## 落語:五街道雲助

### 「芝浜」



年末といえば、クラシックは「第九」、落語は「芝浜」。古典落語における人情噺の代表格で、今も昔も錚々たる顔ぶれが競演する大ネタです。切れの良い江戸言葉による丹念な語り口、緻密な心理描写、情景描写で、老若男女の幅広い観客を噺の世界へと引き込む古典落語の正統派、五街道雲助さんの一席をお楽しみください。

開催日時

2021年12月12日【日】

14:00開場 15:00開演

約3時間(途中休憩含む)

チケット(全席自由)

ティアラ友の会会員:3,600円

一般:4,000円

※6歳以上入場可

チケット発売開始

10月10日【日】AM10:00—

(Web予約は翌日0:00—受付)

チケット取扱

江東区豊洲文化センター

Tel. 03-3536-5061(9:00—21:00、第2・第4月曜休館)

Web予約: <https://www.kcf.or.jp/yoyaku/ticket/>

その他、江東区内の各文化センター、総合区民センター、

ティアラこうとう、深川江戸資料館にて取扱い

会場・アクセス

豊洲文化センター

豊洲シビックセンターホール(5F)

アクセス:東京メトロ有楽町線「豊洲駅」下車7番出口 徒歩1分

新交通ゆりかもめ「豊洲駅」下車 改札フロア直結

都営バス「豊洲駅前」下車 徒歩2分



お問合せ

公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

江東区豊洲文化センター

〒135-0061 東京都江東区豊洲2-2-18 豊洲シビックセンター内

Tel. 03-3536-5061 Fax. 03-5560-0505

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、来場前の検温、手指消毒、マスクの着用をお願いいたします。体温37.5℃以上の方、体調不良の方はご入場いただけません。